

仰星ニュースレター

ワンポイント会計基準

vol. 243 サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) の設立及び SSBJ 設立準備委員会の設置について

公益財団法人 財務会計基準機構は、2021年12月17日に開催した理事会において、サステナビリティ基準委員会 (SSBJ) の設立を決議し、また、SSBJ 設立準備委員会の設置並びに SSBJ 設立準備委員会の委員及び委員長を選任を決議しました。

SSBJ の設立時期は2022年7月1日であるため、SSBJ が設立されるまでの間の国際的なサステナビリティ 開示基準の開発への貢献を目的として、SSBJ 設立準備委員会が2022年1月1日に設立されています。

サステナビリティ報告書とは

企業が行う持続可能な社会の実現に向けた活動についてまとめた報告書のことをサステナビリティ報告書と言います。サステナビリティ報告書は、ESG と密接な関係にあります。ESG とは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったもので、この三つの観点を持つことが企業の成長に必要なだという考え方が、近年、重要視されています。

財務情報一辺倒からの脱却

高度経済成長期は損益計算書の経常利益が重要な投資判断指標とされていました。経済成長が右肩上がりの世の中では、企業の長期的な収益力に関する指標が投資家から重要視されたわけです。その後、安定成長期から低成長期 (マイナス成長?) になると、モノが売れない時代が到来し、過剰な設備投資をしていないか (減損会計)、資産デフレを起こしていないか (時価会計) と、投資家の関心事は損益計算書から貸借対照表に移っていきます。一方、我々の経済社会は、環境破壊と引き換えに経済成長をしてきた面は否めません。今後は環境や社会の不安定さが経済に悪影響を及ぼすことが懸念され、ESG を投資判断に利用する投資家が増えると思われます。財務情報から非財務情報へのシフトが始まったわけです。

IFRS 財団は、国際的なサステナビリティ開示基準の開発を目的とする

「国際サステナビリティ基準審議会 (International Sustainability Standards Board; ISSB)」を設置することを 2021 年 11 月に公表しました。わが国においても、国際的なサステナビリティ開発基準の開発に対して意見発信を行うことや、国内基準の開発を行うための体制整備が必要との見解が市場関係者より示されているところです。このような状況を踏まえ、SSBJ が誕生したわけです。

以上